

福井県子連



通信

第20号

(全正会員・市町事務局)

理事会メンバーで
情報リテラシー研修
を受講しました(^^♪

3月6日(日)今年度最後の理事会終了後、理事・監事・事務局のメンバーで「情報リテラシー研修」を受講しました。講師はIT関連企業にお勤めの、福井市子連会長で県子連育成指導委員でもある坂田裕幸氏です。以下に研修資料項目を紹介します。

○情報リテラシーとはなにか考えましょう

○大人もある程度(広く・浅く)は情報リテラシー(情報活用力)を知る必要がある

- MENU
- 1 個人情報・・・✳保護者の承諾は？ ✳事前通知の目的を守ってる？
✳どうやって徹底したらいい？
✳運営責任者ではない子ども会関係者が撮影していたら？
 - 2 カメラ・・・★スマホのカメラ高性能すぎ問題
 - 3 著作権・・・※どんな画像なら使っていいの？
 - 4 SNS・・・☆SNSってなんでトラブルの？
(ライン、フェイスブック、ツイッター?)
☆指導者はどう関わればよい？
 - 5 メール・・・●メールを送るときはどうしたらいい？

ラインがとても便利なので、写真や名前を含め、多くのことに利用していた。ラインでつながる相手が広がっても、テレビや新聞などでトラブルを見聞きしても、これまで無頓着だった。恐ろしくなった。

感動した・・・子どもたちに関わるすべての大人が知るべきだと思った。

今まで分かっていたつもりだった。甘かった。今度、市の役員会があるので、この研修の必要性をみんなに伝えたい。

受講者の声

こんな研修をして欲しかったので、実現できて良かった。単子の子ども会活動に関わる人も含めて、どうしたらみんなに聞いてもらえるか、考え中。

よく理解できた。初めて聞く人には少々難しかったかもしれない。「なぜ、この研修が必要なのか」ということに重点をおくとよいかも。この類の研修は、何回でも、絶対に、必要だ。

今まで、勝手にスマホで撮影している人に何も言えなかったのを反省・・・

✳✳ 敦賀市子連 “PLUS” プラス 紹介 ✳✳

敦賀市子連では、市ユースリーダーがジュニアリーダー(JL)のスキル向上のために“PLUS”という研修をしています。今年度、2年ぶりに開催することができました。JL達は、講義だけでなく、実際にレクリエーション活動も行いながら、子どもたちに伝えるときのポイントや注意すべき点をユースリーダーから教わりました。今回学んだことを、早速次の活動に生かす予定です。

